

神経機能学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Niwayama R, Nishitani S, Takamura T, Shinohara K, Honda S, Miyamura T, Nakao Y, Oishi K, Araki-Nagahashi M. Oxytocin Mediates a Calming Effect on Postpartum Mood in Primiparous Mothers. *Breastfeed Med.* 2017 (IF: 1.438)
2. Doi H, Morikawa M, Inadomi N, Aikawa K, Uetani M, Shinohara K. Neural correlates of babyish adult face processing in men. *Neuropsychologia.* S0028-3932(17)30023-4, 2017 (IF: 2.989)
3. Fujisawa TX, Nishitani S, Iwanaga R, Matsuzaki J, Kawasaki C, Tochigi M, Sasaki T, Kato N, Shinohara K. Association of Aryl Hydrocarbon Receptor-Related Gene Variants with the Severity of Autism Spectrum Disorders. *Front Psychiatry.* 7:184. 2016
4. Doi H, Shinohara K. Attention allocation towards own face is pronounced during middle adolescence: an eye-tracking study. *Dev Sci.* 2016 (IF: 3.982)
5. Sawano E, Doi H, Nagai T, Ikeda S, Shinohara K. Interactive effects of 5-HTTLPR genotype and rearing environment on affective attitude towards own infant in Japanese mothers. *Behav Brain Res.* S0166-4328(16)30982-2. 2016 (IF: 3.002)
6. Nishitani S, Ikematsu K, Takamura T, Honda S, Yoshiura KI, Shinohara K. Genetic variants in oxytocin receptor and arginine-vasopressin receptor 1A are associated with the neural correlates of maternal and paternal affection towards their child. *Horm Behav.* 87:47-56. 2017 (IF: 3.340)
7. Senese VP, Shinohara K, Esposito G, Doi H, Venuti P, Bornstein MH. Implicit association to infant faces: Genetics, early care experiences, and cultural factors influence caregiving propensities. *Behav Brain Res;* S0166-4328(16) 30628-3. 2016 (IF: 3.002)
8. Doi H, Shinohara K. Emotional faces influence numerosity estimation without awareness. *Cogn Process.* 17:389-397, 2016 (IF: 1.340)
9. Truzzi A, Setoh P, Shinohara K, Esposito G. Physiological responses to dyadic interactions are influenced by neurotypical adults' levels of autistic and empathy traits. *Physiol Behav;* 165: 7-14, 2016. (IF: 2.461)
10. Esposito G, Truzzi A, Setoh P, Putnick DL, Shinohara K, Bornstein MH. Genetic predispositions and parental bonding interact to shape adults' physiological responses to social distress. *Behav Brain Res.* S0166-4328 (16) 30406-5, 2016. (IF: 3.002)
11. Sawada, R., Doi, H., Masataka, N. (2016) Processing of self-related kinematic information embedded in static handwritten characters. *Brain Research*, 1642, pp. 287-297 (IF: 2.561)
12. Takamura, T., Nishitani, S., Doi, H., Shinohara, K. (2016) Possible neural correlate of young child attachment to mother in 4 to 5 year olds. *Acta Medica Nagasakiensia*, 60 (2), pp. 45-52

B 邦文

B-a

1. Tange A, Ishikawa H, Miyazawa K, Kikuno Y, Shinohara K: Investigation of infant's tactile by NIRS reveals the physical properties of nonwovens showing the pleasant tactile. *Material Technology* 34: 4, 2016

B-b

1. 土居裕和、篠原一之. *GID の遺伝的基盤*. 思春期学 34(4) 383-387
2. 匂いを介したヒトとヒトのコミュニケーション: 乳児~高齢者まで 樽見航 篠原一之, *AROMA RESEARCH*, 2016, 1-6

B-d

1. 久永聡子、土居裕和、黒田佳織、池田聡子. マザリーズによる乳幼児の言語発達促進効果に関する縦断的研究. *発達研究* 30 117-122
2. 松本高明, 内藤祐子, 和田壮生, 市川大樹, 高橋雄介, 和田匡史, 阿部太輔, 浅井泰詞, 篠原一之, 土居裕和. 漸増強度負荷による競泳選手の唾液中ホルモンの変動. *国士舘大学体育研究所報* 33 23-26

B-e

1. 菊野雄一郎・丹下明子・菅文美・石川浩樹・篠原一之: 母子双方の前頭前野を活性化させる気持ちいい触感とは? - 母子同時 NIRS 計測による検討 -. 第 38 回日本生物学的精神医学会抄録集, 202, 2016.
2. 宮島洋文、樽見航、土居裕和、小林透、篠原一之: 機械学習を用いた深部体温の推定に関する研究 *Life Intelligence and Office Information Systems*, 2016 年 7 月

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	2	1	1	1	6

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
篠原一之・教授	長崎市子どもを守る専門委員会・委員	長崎市
篠原一之・教授	編集幹事	長崎医学会雑誌
篠原一之・教授	科学研究費委員会専門委員	独立行政法人 日本学術振興会
篠原一之・教授	評議員	日本生理学会
篠原一之・教授	評議員	西日本生理学会
篠原一之・教授	評議員	日本内分泌学会九州地方会
篠原一之・教授	アロマセラピー学雑誌編集委員会・委員	日本アロマ環境協会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
篠原一之・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）	代表	女性の健康向上に資するウェアラブル医療機器等の開発、および機器利用による診療の質向上に関する研究
篠原一之・教授	日本アロマ環境協会		女性に幸福感をもたらすコミュニケーション力を高めるのに効果的な幸福（愛情）ホルモン（オキシトシン）の増加作用を有する精油の探索
篠原一之・教授	日本アロマ環境協会		アロマハンドトリートメントのオキシトシンに与える影響
篠原一之・教授	ユニ・チャーム株式会社		触感評価技術の紙おむつ素材開発及び商品有用性への応用
篠原一之・教授	ジェクス株式会社		授乳用乳首が乳児に与える影響観察
篠原一之・教授	アットアロマ株式会社		エッセンシャルオイルの女性の健康に関する基礎研究
篠原一之・教授	株式会社美泉		近赤外分光法（NIRS）を用いた、物言わぬ赤ちゃんの肌触りからの生地検証
篠原一之・教授	聖路加国際大学	分担	基盤研究(B)：篠原一之（代表：堀内）
篠原一之・教授	聖路加国際大学	分担	挑戦的萌芽研究：篠原一之（代表：堀内）
土居裕和・講師	文部科学省：科学研究費補助金 基盤(C)	代表	ASD 社会性機能障害発症機序における「環境 x 遺伝子相互作用」の解明
土居裕和・講師	文部科学省：科学研究費補助金 基盤(C)	分担	国際級スポーツ選手の心理的能力を規定する生物学的基盤の解明
土居裕和・講師	花王 芸術・科学財団：音楽の研究 平成28年度助成	代表	音楽の「好み」の個人差に関する行動遺伝学的研究
土居裕和・講師	公益財団法人金原一郎記念医学医療振興財団：第31回基礎医学医療研究助成金	代表	オキシトシンと恐怖症重症度との関連性についての行動遺伝学的研究
菊野雄一郎・助教	(公財)発達科学研究教育センター	代表	乳幼児触覚発達の神経基盤：NIRSを用いた縦断的検討

菊野雄一郎・助教	日本学術振興会	分担	挑戦的萌芽研究：視覚認知機能の遺伝子多型間比較と文化間比較
----------	---------	----	-------------------------------

特許

氏名・職	特許権名称	出願年月日	取得年月日	番号
篠原一之・教授、 土居裕和・講師、 菊野雄一郎・助教	女性月経周期における各月経ステージに対応する集中力向上・衝動性低下の作用を有する芳香用組成物	2016年 12月27日		特願 2016-254511

その他

非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
篠原一之・教授	第48回子育て講演会 （「胎児期から始まる子育て」）	京都チャイルドトラスト
篠原一之・教授	久留米大学医学部看護学科・特別講義 （「親子と絆の脳科学」）	久留米大学医学部看護学科
篠原一之・教授	研修会講師・職員研修会 （「胎児期からの影響がある親子の関わりについて」）	福岡県乳児院協議会
篠原一之・教授	研修会講師・認定こども園保育者資質向上研修 （「保育力と保育におけるコミュニケーションについて」「子どもの健康について」）	長崎純心大学
篠原一之・教授	第34回日本小児心身医学会学術集会 （「胎児～乳幼児期の母子コミュニケーション」）	長崎県立こども医療福祉センター 心身診療科
篠原一之・教授	下関市小児科医会・産婦人科医会・こども未来部・保健部合同研修会 （「胎児期からの母子アタッチメントの形成」）	下関市小児科医会
土居裕和・講師	生理学Ⅱ	長崎医療技術専門学校
菊野雄一郎・助教	非常勤講師（人体のしくみとはたらき）	長崎市医師会看護専門学校

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
篠原一之・教授、 菊野雄一郎・助教	世界初“触感を通じた母子相互作用を長崎大学と共同研究 母子共に気持ちいいと感じていることを脳活動計測から実証 安心感を与えるママのスキンシップのような肌触りのよい紙おむつ選びが大切	ユニ・チャーム(株)ニュースリリース	2016年 9月12日	ユニ・チャーム(株)と共同で、世界初“触感”を通じた母子相互作用の脳活動をNIRSで測定する技術を確立した。

○特筆すべき事項

①学術賞受賞

- ・菊野雄一郎・助教：(公財)発達科学研究教育センター 発達科学研究教育奨励賞（研究タイトル：乳幼児触覚発達の神経基盤：NIRS を用いた縦断的検討）
- ・菊野雄一郎・助教：材料技術研究協会 Material Technology 技術賞（研究タイトル：Investigation of infant's tactile by NIRS reveals the physical properties of nonwovens showing the pleasant tactile.）